

長浜小学校からの報告

水生生物調査結果

| 調 査 場 所 名 (No.) | | 北星高校付近 No.1 | 北星高校付近 No.2 | No.3 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------------|-----------------|--------------------------------|-------------|-------|---------|-------|--------|-----|---------|-----|----|---|----|-----|----|--|--|
| 月 | 日 | 時 | 刻 | 6月19日 | 15時00分 | 9月25日 | 15時00分 | | | | | | | | | | |
| 天 | 気 | | | 晴れ | | | | 晴れ | | | | | | | | | |
| 水 | 温 | (| °C |) | 24.0 °C | | | | 21.5 °C | | | | | | | | |
| 気 | 温 | (| °C |) | 32.0 °C | | | | 29.2 °C | | | | | | | | |
| 川 | 幅 | (| m |) | 約4m | | | | 約4m | | | | | | | | |
| 河 | 川 名 | | | 十一川 | | | | 十一川 | | | | | | | | | |
| 生 物 を 採 取 し た 場 所 | | | | 全面 | | | | 全面 | | | | | | | | | |
| 水 | 深 | (| cm |) | 18cm | | | | 15cm | | | | | | | | |
| 流 | 速 | (| cm / s |) | ゆるやか | | | | ゆるやか | | | | | | | | |
| 水 の よ う す | | 指 標 生 物 | | | | | | | | | | | | | | | |
| I き れ い | 1 | カワゲラ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | ナガレビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3 | ヒラタケゲロウ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4 | ブユ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 5 | ヘビトンボ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6 | カガンボ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 | サワガニ | | | | | | | | | | | | | | | |
| I・II 共 通 | 8 | ウズムシ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9 | 2以外のビケラ類 | | | | ○ | | | | ○ | | | | | | | |
| | 10 | 3、14以外のカゲロウ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| II 少 し よ ご れ て い る | 11 | ヒラ外ロムシ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 12 | ジジミ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| II・III 共 通 | 13 | カワニナ | | | | ● | | | | ● | | | | | | | |
| III よ ご れ て い る | 14 | サホコカゲロウ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 15 | ヒル類 | | | | ● | | | | ○ | | | | | | | |
| | 16 | ミスムシ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 17 | モノアラガイ | | | | | | | | | | | | | | | |
| III・IV 共 通 | 18 | サマキガイ | | | | | | | | | | | | | | | |
| IV 大 変 よ ご れ て い る | 19 | 赤いユスリカ | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 20 | イトミス類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 21 | ハナアブ類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水 質 判 定 表 | 水 の よ う す の 区 分 | | | I | II | III | IV | I | II | III | IV | I | II | III | IV | | |
| | 1 | みつかった指標生物の 種類の計 (○+●) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2 | みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 合 計 (1欄+2欄) | | | 1 | 3 | 4 | 0 | 1 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 判定結果(合計が最も大きい区分) | | | III | | | | II | | | | | | | | | | |

調査考察、活動内容等

活動について

長浜小学校では、「水生生物クラブ」として、みずすまし活動を行っています。平成 29 年度は、4 年生 8 名、5 年生 3 名、6 年生 4 名の合計 15 名の隊員で活動を行いました。

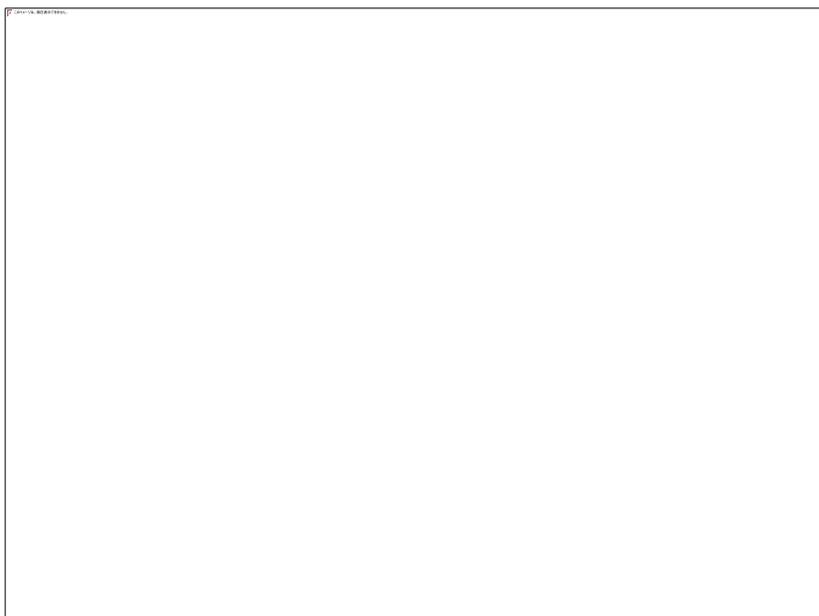
長浜小学校「水生生物クラブ」が活動を行ったのは、学校の南側に流れる「十一川」です。クラブ活動の時間に、指標生物の採取を行いました。水生生物が好きで昨年度から同じクラブにいてくれる児童もいました。その児童たちが、意欲的に 4 年生に声かけをして、採取を手伝ったり、生き物の名前を教えたりしながら、楽しく活動することができました。十一川は 3 面コンクリートに覆われています。コンクリートに覆われていることにより、児童たちは安全に活動することができました。しかし、魚は少なく、アユやフナなどの魚とりを楽しみにしていた児童は残念そうでした。指標生物のとり方を説明し、「こんな小さな生物を探すことにより、十一川のきれいさが分かるんだよ。」と説明をすると、児童たちはいきいきと活動することができましたが、生き物は少なく、とれる生き物の偏りも見られました。

雨の日には、十一川と自校のビオトープ、びわ湖のプランクトンを比べました。なかなか顕微鏡でプランクトンを探すことは難しかったのですが、見つけたときには「わぁ！おった！」と大きな声をあげて喜ぶ姿が見られました。

「活動調査記録」

【6 月 19 日 月曜日】

- 天気 : 晴れ
- 水温 : 24.0℃
- 気温 : 32.0℃
- 水深 : 約 18cm
- 川幅 : 約 4m



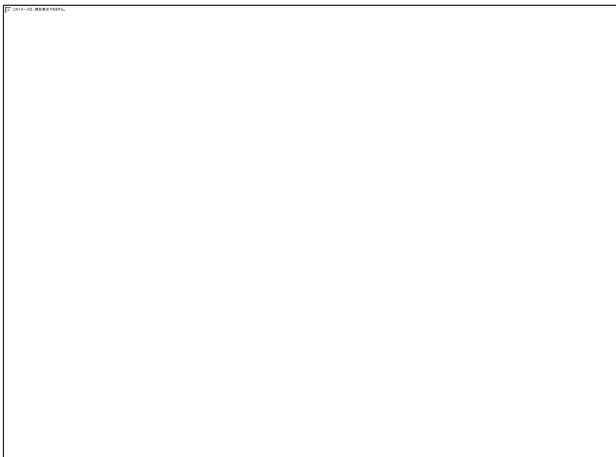
天気のよい、暑い日に川に入って活動できることに心躍らせていました。魚をとることを目的に来ていた児童はなかなか魚をとることができず、残念そうにしていたのですが、高学年の児童が、下学年の児童に対し、魚のいそうな藻の中や川の端を教えていました。そうすると、ドンコやスジエビ、ザリガニなどをとることができ、喜んでいました。指標生物のとり方を説明すると、みるみるうちにバットや水槽の中に生き物を分けることができました。しかし、一番多くとれたのがカワナ、次にヒルという汚れた川にいる生き物でした。COD パックテストを行ってみると、数値は「4」であり、とても汚れているとは言えません。川を上から見ても汚れているようには見えませんでした。しかし、指標生物を採取してみると、少し汚れている～汚れている生き物が多くとれました。このことにより、十一川は見た目はきれいですが、少し汚れている川で、見た目だけで水のきれいさはわからないということが児童たちも理解することができました。

【9月25日 月曜日】

- 天気 : 晴れ
- 水温 : 21.5℃
- 気温 : 29.2℃
- 水深 : 約15cm
- 川幅 : 約4m



6月の調査と同様、貝類が多く見られました。この時期にはきれいな水にすむトビケラ類やシジミ、カワトンボ類のヤゴを見つけることができました。トビケラ類やカワトンボ類を見つけたときに何という生き物なのか、成長すると何になるかを説明してくれる児童がいたことにより、見た目の気持ち悪さよりも、驚いていた児童が多くいました。水の様子を見ても6月の調査時と変わった様子はありませんでした。きれいな水にいる指標生物がとれたことにより、前回のとり方が悪かったのではないかと話す児童の姿が見られました。少し慣れたことにより、とれる生物が増え、前回より正確な調査を行うことができました。ドンコやヨシノボリ、スジエビなどの生物もとることができました。季節によってとれる生物が変わったり、大きさが変わったりすることを理解することができました。



まとめ

生き物に関心の高い児童から、魚にだけ興味があった児童まで差異はあるものの、希望をしてクラブ員となっただけあり、体験活動・調査活動に意欲的に取り組む姿が見られました。河川に入って遊んだ経験のある児童とない児童の差が激しく、児童たちの反応もさまざまでした。上級生が下級生に水生生物のとり方を教えたり、生き物について教えたりしている姿が、とてもほほえましい光景でした。お互いが興味をもっていることだからこそ、教えたい、聞きたいという気持ちがより高まり、繋がりを感じることができました。

児童たちは、クラブ活動を通して、身近な川にいる生物の調査をしたことにより、見た目だけでは、水がきれいかどうか判断することができないこと、季節によってとれる生き物が変わり大きさが変わるることについて体験的に学ぶことができました。自然の豊かさや川に入ることの気持ちよさ、生き物を通して水環境について学ぶことの楽しさを体験できました。これから、水質を良くするために、水質をこれ以上悪くさせないためにできることは何なのか。自分たちの生活を振り返り、どのような行動をとればいいのか児童たちと話し、深めていけるように指導していきます。

